

キリスト大学国際会議に参加

堀内みどり

1月9日から12日にかけて開催された、インド・バンガロールにあるキリスト大学 (Christ Deemed to be University) の創立50周年記念国際会議に出席し、発表した。

総合テーマは「ハーモニー」で、宇宙と宗教と倫理の調和を焦点とし、開会記念講演のほか、6つの基調講演があった。研究発表は7つのサブ・テーマに分かれ、合計129の発表があった。堀内は、「Harmony: Indian Perspectives」の部会で、「Religious Harmony: An Approach by Swami Vivekananda (宗教的調和: スワミ・ヴィヴェーカーナンダの方法)」と題し、ヴィヴェーカーナンダの「ユニヴァーサル・レリジョン (普遍宗教)」について発表した。1893年シカゴで行われた世界宗教会議で絶賛されたヴィヴェーカーナンダは、その後、請われてアメリカ・ヨーロッパ各地を講演旅行している。彼は、各々の宗教・宗派・教派はそれぞれ自分のテリトリーの中で自分が一番だと言い、他を批判するが、そのような諍いや争いを超える「普遍宗教」というあり方が重要だと言う。彼はヒンドゥー教に則り解説するが、今回の発表では、彼のその理想は現代社会でどのように展開されているのか、そもそも「普遍宗教」とはどう解されるのかについて再考した。

第319回研究報告会 (2月21日)

「アメリカ東部の天理教伝道—ニューヨークセンターの歴史と現状—」

尾上貴行

アメリカ本土の天理教伝道は、19世紀末から増加したアメリカへの日本人移民を追いかける形で、1920年代後半から組織的に開始された。そして天理教の教勢は戦前から現在に至るまで、日本人や日系アメリカ人が多く在住する西海岸に集中している。その一方で、戦後のアメリカ伝道の特徴の一つとして、中西部や北東部への伸展が挙げられる。本報告では、この中西部や北東部での伝道について、特に「天理教ニューヨークセンター」の歴史と活動を中心として概観した。

まず初めに1900年から現在に至るまでのアメリカ国勢調査のデータに基づき、日系人の人口分布の変遷を押さえた上で、天理教の戦前、戦後、そして現在の教勢を地図上に見ていった。このことから戦後にはイリノイ州やワシントンD.C. などにも教会が設立され、さらに現在ではニューヨーク、ジョージア、バージニア、ノースカロライナなどの各州にも教会や布教所があり、布教活動がより広範囲に展開している様子が確認された。

次に中西部や北東部での伝道の嚆矢と考えられる中山正善2代真柱の訪問について言及。2代真柱は生涯で1933年、1951年、1954年、1963年2回の合計5回訪米し、シカゴやニューヨークにも度々訪れ、領事館、日系企業、大学などの関係者と懇談している。1950年のウエストシカゴ教会設立を皮切りに、中西部や北東部に教会新設や移転が相次いだ。その背景には、戦時中抑留や強制収容された教信者たちが、当初西海岸に戻ることが許されなかったこともあり、他の同胞と共に新たな居住

地をイリノイ州やニュージャージー州などに求めたことがあったこと、また当時の布教対象は転住した日系人やアメリカ人の軍人と結婚し渡米した女性たちであったことなどを述べた。

後半はニューヨークの伝道をまとめた。同地での布教活動が本格化するのには1960年代に入ってからであり、アメリカ伝道庁3代庁長をつとめた吉田進氏などの布教活動により、在住する教信者たちが寄り集い月次祭をつとめるようになった。同時期の日米関係改善、移民法改正、日系企業進出などから、新たに渡米し在住する日本人が徐々に増加していったことが、布教活動を活発にする要因ともなった。こうした中で、1971年に中山善衛3代真柱がニューヨークを来訪。これが契機となり、同地への拠点設置の機運がたかまり、1977年ニューヨーク州クイーンズ区に「天理教ニューヨークセンター」が設置された。その後の略史と現在の主な活動を紹介した後、対社会活動の大きな基点となっている「ニューヨーク天理文化協会」の活動に関しても言及した。

最後に、ニューヨークでの天理教伝道の基盤として、センター設立当初から諸活動に参画している教信者の存在、地域社会活動へ積極的な貢献、アメリカ社会との接点を旨とする文化協会の存在、関係者一同が丸となって行われた神殿ふしんなどがあるのではないかと報告者の印象を述べた上で、次世代への信仰の伝承や非日系人への布教などが、今後も変わらぬ課題として挙げられるのではないかとして発表を締めくくった。

『グローバル天理』年間購読のご案内

原則的に新年度は1月号からとなっております。購読料については、送料のみの実費負担です。申し込みは、封書、FAX、メールでお願い致します (お電話での申し込みはご遠慮下さい)。毎月の希望冊数と、氏名 (フリガナも)、郵便番号、住所、電話、FAX、E-Mail、職業をお知らせ下さい。申し込み受付後に振込み用紙を送付致します。切手・現金でのお支払いはご遠慮くださいますようお願い致します。振込みを確認後、発送させていただきます。

**送料** (ヤマト運輸メール便)  
全国一律、A4 (角2) 厚さ1cmまで (10冊まで)  
82円でお届けします。

11冊以降は164円になります。

【例】

毎月1~10冊購読 82円×12カ月=984円

毎月11冊~購読 164円×12カ月=1,968円

問い合わせ先:

〒632-8510 奈良県天理市柚之内町1050  
天理大学 おやさと研究所「グローバル天理」編集部  
FAX 0743-63-7255  
E-Mail: oyaken@sta.tenri-u.ac.jp

「出前教学講座」申し込み受付

おやさと研究所では、「出前教学講座」についてのご依頼を受け付けております。どのようなことでも、気軽にご相談ください。お待ちしております。

詳細は、担当者佐藤孝則 (電話:0743-63-8105、またはメール: tasato@sta.tenri-u.ac.jp) までお問い合わせ下さい。